

# 中学生にリモートインタビュー！



ゲスト  
**榛東中学校の  
 生徒会の皆さん**



インタビューア  
**榛東村議会議長**  
 みなみ 南  
 ちはる 千晴

今回は、議長室と榛東中学校の教育相談室を結び、生徒会の皆さんにオンラインでインタビューをしました。**学校が休校になったときの家でのご過ごし方は？**

「野球やランニングで体を動かし、勉強もしました。毎日のように学校に行きたいと思っていました。」

「運動も勉強もしました。コロナが怖かったので、新聞で感染者数やどんなウイルスかなどを調べました。」

「家や屋外施設で自転車に乗りました。学校からの課題以外に苦手なところも勉強したので、克服することができました。」

「学校のように自分で時間を割き組んで勉強をしました。やはり学校に行きたいと思っていました。」

## 学校が始まった時の気持ちは？

「友達と話したいこともたくさんあって、早く仲良くしたいと思いました。」

「久しぶりに会えてうれしかったです。ただ、学校で密になるのが不安でした。」

「やっと友達に会えたと思えました。学校に行けて本当に嬉しかったです。」

「勉強についていけない不安もありました。始まって良かったです。」

**学校での感染症対策や新しい生活様式には慣れましたか？**

「慣れていないことで、最初は精神的にも体も負担がありました。今は慣れました。」

「不自由なこともありましたが、必要なことだと思えました。ソーシャルディスタンス感覚も今はつかめています。」

「マスクが大変でしたが、今は慣れました。」

「教室ではソーシャルディスタンスで友達と話せませんが、他のクラスの友達とは廊下では話せないのが寂しいです。」

## 他に先駆けて行っているタブレットを使ったICT授業の感想は？

「ICTは、わかりやすく面白いです。楽しく授業を受けています。」

「同じページでみんなの意見が共有できるので、手を挙げて発言しなくても意見がわかります。」

「メリットが多いと思います。私も意見交流ができるのが良いです。」

「手を挙げて発言しなくても他の意見がすぐにわかることで、自分の意見の変化や考える幅も広がりました。」

**感染した方や濃厚接触者が差別やいじめにあわないよう取り組んでいることは？**

「まずは、感染症対策の徹底です。ソーシャルディスタンスをとって学校生活ができるように取り組んでいます。シミュレーションも行い、いじめが起こらないように呼びかけることもやっています。」

## 編集後記

あけましておめでとうございませう。昨年から新型コロナウイルス感染症が拡大を続けている状況の中、さらなる感染拡大防止に努めながら編集しました。議会から監査請求が提出され、議会選出監査委員として監査する傍ら、議会だよりも協力し合い、93号を編集しましたので、読んでください。  
 (善養寺孝)

## 今年号の成人式ができて良かった！

今年度は、しんとうスポーツアリーナにて感染症対策をして開催。コロナ禍での成人式でしたが、成人者の輝く笑顔や瞳は変わらず眩しかったです。皆様の未来に幸あれ！おめでとうございます！

## おわびと訂正

- 前号(第92号)P5の金額及びP13の文言に誤りがありました。ここに訂正しておわび申し上げます。
- (誤) 4082万円
- (正) 2161万円
- (誤) 検索
- (正) 唱(そしゃく)

## 発行責任者

- 議長 南 千晴
- 議会広報常任委員会
- 委員長 小野 関治義
- 副委員長 蜂巣 實
- 委員 清水 健一
- 委員 川田 敏彦
- 委員 善養寺 孝

## 榛東村議会 ホームページについて

議会の会期日程や結果について、決定次第議会のホームページに掲載しています。また、議会のしくみや議会用語などについても説明していますので、ぜひご覧ください。

榛東村議会 クリック



## しんとうむら議会だより